

福島



後半、滑り込みながら競り合う尚志・渡辺康平選手(左) 杉本昌大撮影

尚志 8 強ならず

立正大淞南に 0-2

▽3 回戦
立正大淞南 2 (1-1-0) 0 尚志 (島根) (福島)

【得点】(立) 平田健、高田

全国 高校サッカー

全国高校サッカー選手権大会(読売新聞社など後援)の3回戦が行われた3日、県代表の尚志は千葉市のフクダ電子アリーナで、立正大淞南(島根)と対戦、0-2で敗れ、ベスト8進出を逃した。

尚志は前半、相手の背後を突くスルーパスなどで攻撃をつなぐが、相手の中央突破やサイド攻撃に押し込まれ、32分と52分に失点す

る苦しい展開。途中出場のエース林純平選手の強烈なミドルシュートや稲村知大選手のロングスローなどで、相手ゴールに迫ったが、得点できなかった。

仲村浩二監督は「スピードとパワーで相手が勝り、1失点目でペースを持っていかれた。選手たちは精いっぱいやってくれたし、いいチームだった」とねぎらった。

- 【尚志】 明葉康城野村凌田木岩野 新松渡山慶稲佐津鈴白小 G D M F 鹿健村本庭丸井森山浜島 妻平中山響石藤宮平中 G D M F
- 【立正大淞南】 井佐 高(尚) 中村 竹中 尾崎、林、上、藤



故郷に雄姿見せた

尚志3年 MF 稲村知大 選手

試合終了の笛を聞くと、ユニホームで涙をぬぐった。応援席に向かって頭を下げた。「福島にいいサッカーを見せられたかな。故郷を思い、涙がまたあふれた。いわき市出身で、小学3

年の時にサッカーを始め た。中学2年の3月、東日本大震災の揺れで実家は全壊した。翌年1月、避難生活が続ける自分に勇気を与えてくれたのが、選手権で県勢初のベスト4入りした尚志の先輩たちだった。

その春、尚志に入学。2年生でレギュラーに定着した。最後の年に初めてつかんだ選手権への切符。元々、気持ちを前面に出すタイプ

ではないが、大声を張り上げ、ボールを持った相手に激しくプレッシャーをかけた。

いわき市の借り上げ住宅から応援に駆けつけた母稚子さん(44)は「あんなに気迫にあふれた姿は初めて」と目を細めた。3年前に自分を勇気づけたチームを引き継いで立った憧れの舞台。苦しい展開だったが、最後までボールを追った。悔しさもあるが、自分に言い聞かせた。

「自分の気持ちは出し切った」 (徳山喜翔)

【支局】
福島 〒960-8063 福島市柳町4-29 電話 024-523-1204 Fax 523-1207 メールは fukushim@yomiuri.comへ
郡山 〒963-8878 郡山市堤下町1-63 電話 024-922-0678 Fax 923-7272
いわき 〒970-8026 いわき市平菱川町4-3 電話 0246-23-0011 Fax 23-0012
会津若松 〒965-0042 会津若松市大町1-8-5 電話 0242-22-8016 Fax 22-8017
【通信部】
南相馬 0244-24-4061
購読・配達は
福島 557-3364
会津若松 25-0601
郡山 922-2210
いわき 25-2537
白河 23-2539
須賀 73-2757
喜多方 24-5081
原町 23-3551
相馬 35-2613
二本松 22-2325
読売会事務局
福島東(いわき) 24-2911
福島西(郡山) 931-2216
広告・福島 522-4541
郡山 933-4539
いわき 29-2725
読売旅行郡山 921-4341
折り込み広告
福島読売 I S 558-6500